

# 平成30年度 多良中学校校内研修計画

## 1 研究主題

「自他を大切にし、自ら考え行動できる心豊かな生徒の育成」  
～授業づくりと体験活動を通して～

## 2 主題設定の理由

近年、グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化の進行など、社会情勢は大きく変化し、これまでなかった課題も生まれ、道德教育の必要性が高まっている。それに伴い来年度からは、中学校で特別の教科道德として教科化される。中学校道德の目指すところは、小学校段階で培った内面的資質である道德性を授業の中で、自分で考え、話し合い、議論し、自分を振り返ることから自分自身を見つめ、自己を確立することを目指し、他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うことである。

本校は、地域の豊かな自然や歴史、文化の継承を大切にし、教育目標を「自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成」とし、日々の教育活動の中で目標達成に努めている。特に道德的な面から考え、豊かな人間性と社会性の育成を重点化して取り組んでいる。本校生徒は、1小学校からのみ進学してくるので、異学年とのつながりも深いが、人間関係が固定化しており、多様な関わりや考え方に触れる機会は少なく、狭い関わりの中でしか活動できず、個々の高まりはあまり見られない。これまでの道德の授業において、生徒の振り返りの言葉を見ると相手の気持ちや物事の善悪の判断をして記述できているが、生活の中でみると行動に素直に表すことができない生徒も多いように思う。しかし、落ち着いた学習環境と充実した学校行事の中で様々な体験活動を仲間と協力して取り組み、感動する心などの道德的心情は少しずつではあるが育ちつつあると感じている。

これらの点も踏まえて、昨年度より、文部科学省から「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委託を受け、これまで取り組んできた小学校や地域との連携をさらに進め、生徒の実態や課題に応じて授業づくりと体験活動を生かした道德の研究を進めてきた。昨年度の道德アンケートの結果から、4月と12月の比較をすると、ほとんどの項目で「よくできる」「だいたいできている」の回答が上昇していた。毎週道德の授業を中心として生徒の心情に訴えかけてきたことが意識の向上につながったと考える。そこで、今年度も道德の授業を学校教育活動全体を通して行う道德教育の要ととらえ、道德の授業を通して生徒の道德性を育み、自己を内省しつつ物事の本質を考える力、主体的な態度、豊かな心を育てたいと考えている。また、授業で獲得した道德的諸価値観を体験活動で生かしたり、家庭や地域での活動に生かしたりすることで実感を伴い、社会生活の中でも生きていく力につながると考えている。さらに、教科化を見据え、評価の研究にも取り組みたいと考えている。

## 3 研究の目標

道德の授業と体験活動や小学校・家庭・地域との連携を図り、社会の中で自他を大切にし、自ら考え行動できるような力をつけるための手立てを探る。

## 4 研究の仮説

道德の授業で身につけた道德的諸価値を生徒自らが、体験活動の中で課題解決に向けて自主的に活動し、活動後の自己を内省することで、社会の中で豊かな人間関係を築き、行動しようとする意識が高まるであろう。

## 5 研究内容

### (1) 授業づくり部

- ① 研究授業の計画・実践、授業研究会の実施
- ② 指導案・ワークシートなどの研究・検討
- ③ 教材の収集・整理
- ④ 指導方法の工夫、改善
- ⑤ 評価について・効果的な発問の具体化

### (2) 体験活動部

- ① 年間を見通して各学年の体験活動を実施する
- ② 体験活動と道徳の授業との連携を図る
- ③ ボランティア活動や総合的な学習の時間、学校行事など生徒の活動のあり方
- ④ 道徳コーナーの掲示物の工夫

### (3) 地域連携部

- ① 道徳アンケート、QU検査の分析・考察
- ② 通信などによる地域・家庭との連携
- ③ 行事を通しての小中・地域との連携の強化

## 6 研究の方法

### (1) 授業研究会による成果の検証

- ① 全職員で道徳の授業に取り組む。
- ② 小・中の全職員でお互いの授業を参観し合い、研究会も合同で行う。
- ③ 月に1回程度の研究授業、全員参観で授業研究会を行う。
- ④ 小学校からも授業参観に来ていただき連携を深める。

### (2) 講師招聘および研究発表会への参加（特に評価について）

### (3) アンケートの実施

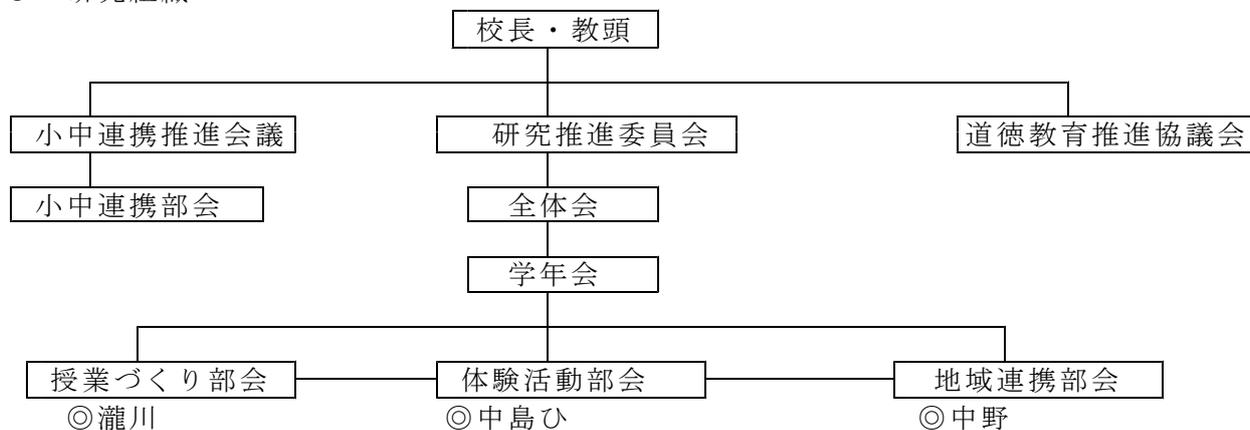
- ① QUの実施、分析、活用
- ② 道徳の授業に関する生徒の意識調査（1学期）、振り返り（3学期）変容の分析など

## 7 検証方法

道徳の授業の最後に必ず自己の振り返りや自己評価を取り入れ、その結果をもとに検証する。

道徳に関するアンケートの項目から数値的に検証する。

## 8 研究組織



各部会	研究内容
研究推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の骨格・基本的事項を立案し、全体研究会に提案する。</li> <li>・各研究部の支援</li> <li>・講師招聘、授業研究。</li> </ul>
全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に関する内容を協議</li> <li>・各部会の報告を受け、改善に向けて協議する。</li> </ul>
授業づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討</li> <li>・ワークシート、資料の検討</li> <li>・発問の具体化</li> <li>・評価について</li> </ul>
体験活動部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動と内容項目の一致</li> <li>・道徳の授業と体験活動の連携</li> <li>・具体的に生かす</li> <li>・道徳コーナーの掲示（毎週付け加え）</li> </ul>
地域連携部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態把握（QU分析）</li> <li>・道徳アンケートの作成・実施</li> <li>・道徳だよりの発行</li> </ul>

## 9 研究の構想図



1 0 年間計画

4月	今年度の校内研究について提案 小中合同道徳教育推進委員会 学年会 全体会・3部会 道徳アンケートの実施・分析
5月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 研究授業者の分担
6月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 第1回 校内研究授業 事務所訪問
7月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 第2回 校内研究授業 三部会紀要原稿確認 指導案検討
8月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 三部会紀要原稿確認 指導案検討 講師招聘「道徳に関する研修」 QUの分析・道徳アンケートの分析
9月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 全体会・3部会 学年会 2学期取り組み確認 第3回校内研究授業
10月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会
11月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 道徳教育研究発表会 研究授業 3本

	講演 文部科学省初等中等教育局教育課程課 浅見哲也先生
12月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会
1月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 今年度取り組みの振り返り
2月	小中合同道徳教育推進委員会 小中合同道徳教育3部会 学年会 全体会・3部会 今年度取り組みの総括
3月	次年度へ向けて